

2025年12月期  
決算説明会



**ISEKI**  
ISEKI & CO., LTD.



2026年2月19日  
井関農機株式会社

1. 2025年12月期 業績の概要
2. 2026年12月期 業績予想
3. 国内外市場動向
4. IR活動について
5. TOPIC
6. APPENDIX

## 2025年12月期業績

**P L 前期比** : 増収増益 (11月14日公表予想を上回る)

プロジェクトZの当期発現効果は計画通り

**過去最高 売上高**

**B S 棚卸資産** : 大幅圧縮 前期末比  $\triangle$  91億円

**有利子負債** : 大幅削減 前期末比  $\triangle$  133億円

**C F 営業CF** : 234億円黒字 過去最高

**配当** 1株あたり40円の期末配当予定(前期比10円増配)

## 2026年12月期予想

・減収ながらプロジェクトZ効果で  
営業増益

・増配予定(2期連続)

業績予想 : 売上高	1,800億円	(前期比 : $\triangle$ 57億円、 $\triangle$ 3.1%)
営業利益	60億円	(前期比 : +17億円、+42.0%)
営業利益率	3.3%	(前期比 : +1.0%)
純利益	30億円	(前期比 : +2億円、+8.8%)
配当予想 : 1株あたり	45円	(前期比 : 5円増配)

# 1. 2025年12月期 業績の概要

## 2. 2026年12月期 業績予想

## 3. 国内外市場動向

## 4. IR活動について

## 5. TOPIC

## 6. APPENDIX

# 連結業績の概要

(単位：億円、%)	2024/12期	2025/12期		
	実績	実績	前期比	予想比 *1
売上高	1,684	<b>1,857</b>	+ 173	+ 47
(国内)	1,130	<b>1,294</b>	+ 164	+ 39
(海外)	553	<b>563</b>	+ 9	+ 8
売上総利益	506	<b>556</b>	+ 50	
売上総利益率	30.1%	<b>30.0%</b>	△ 0.1%	
営業利益	19	<b>42</b>	+ 23	+ 2
営業利益率	1.1%	<b>2.3%</b>	+ 1.2%	+ 0.1%
経常利益	15	<b>41</b>	+ 25	+ 10
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 30	<b>27</b>	+ 57	+ 4
為替平均*2 ドル	151.7	<b>149.9</b>	△ 1.9	+ 0.9
レート(円) ユーロ	164.8	<b>169.1</b>	+ 4.3	+ 2.1
期末配当 (円/1株)	30	<b>40</b>	+ 10	± 0
ROE (%)	△ 4.4%	<b>3.9%</b>	+ 8.3%	

\*1：2025年11月14日公表の業績予想との対比

\*2：2025年度から在外子会社のPL換算レートを期中平均レートに変更しています。(従前は各期末レート)

## 主な増減要因 (前期比)

### ・増収増益

#### 過去最高 売上高(国内大幅増収、海外も堅調維持)

国内売上高：農家の購買意欲の高まりを的確に捉え増収  
メンテナンス収入も続伸

海外売上高：欧州は引き続き堅調、北米の減収を  
アジアの増収が上回り、全体で増収

営業利益：国内外の増収および  
価格改定効果で増益

当期純利益：固定資産売却益計上に加え、  
前年の持分法投資損失、構造改革に  
伴う減損損失が無くなり大幅増益

### 当期純利益の主な増減要因 (プラスは収益好転)

営業利益の増	+ 23億円
為替差益の悪化	△ 2億円
持分法投資損失の解消	+ 8億円
固定資産売却益	+ 10億円
減損損失の減少 (前年は構造改革に伴い計上)	+ 21億円

# 国内売上高

(単位：億円、%)		2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	前期比	
		実績	実績	実績	実績		
農機 関連	農機製品	整地機	229	220	212	243	+30
		栽培機	79	72	65	81	+15
		収穫調製機	160	157	163	186	+23
		小計	469	450	441	511	+69
	メンテナンス	部品	156	160	169	184	+15
		修理収入	58	60	62	67	+5
		小計	215	220	231	252	+20
		作業機	205	204	210	282	+71
		計	889	875	884	1,046	+162
		施設工事	43	55	41	59	+17
	その他農業関連	193	199	204	188	△15	
	合計	1,126	1,130	1,130	1,294	+164	
メンテナンス収入比率		19.1%	19.5%	20.5%	19.5%	△1.0%	

## 主な増減要因（前期比）

・農家の購買意欲の高まりを的確に捉え増収  
メンテナンス収入も続伸

農機製品・作業機：大型・先端商品の販売好調

メンテナンス収入：安定収益源、堅調に増加

施設工事：大型物件の複数完工で増収

➤（参考）当社農機製品価格改定

時期	改定率
2022年6月	約3%
2023年4月	約5%
2024年3月	約3%
2025年7月	約7%

# 海外売上高

(単位：億円、%)	2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	前期比
	実績	実績	実績	実績	
欧州	251	332	385	<b>385</b>	△ 0
北米	195	142	112	<b>104</b>	△ 7
アジア	86	81	49	<b>69</b>	+ 19
その他	6	11	5	<b>3</b>	△ 2
合計	539	568	553	<b>563</b>	+ 9

海外売上高比率	32.4%	33.5%	32.9%	<b>30.3%</b>	△ 2.6%
---------	-------	-------	-------	--------------	--------

## 主な増減要因（前期比）

・欧州は引き続き堅調、北米の減収をアジアの増収が上回り、全体で増収

欧州：フランスIF社でコンシューマー向けを中心に堅調継続、イギリスIUK社連結化効果で、

ドイツIMG社の仕入商品特需があった前年と同水準

北米：コンパクトトラクタ市場は弱含み継続

アジア：韓国で在庫調整完了後の出荷回復、

インドネシアで農業機械化予算拡大による

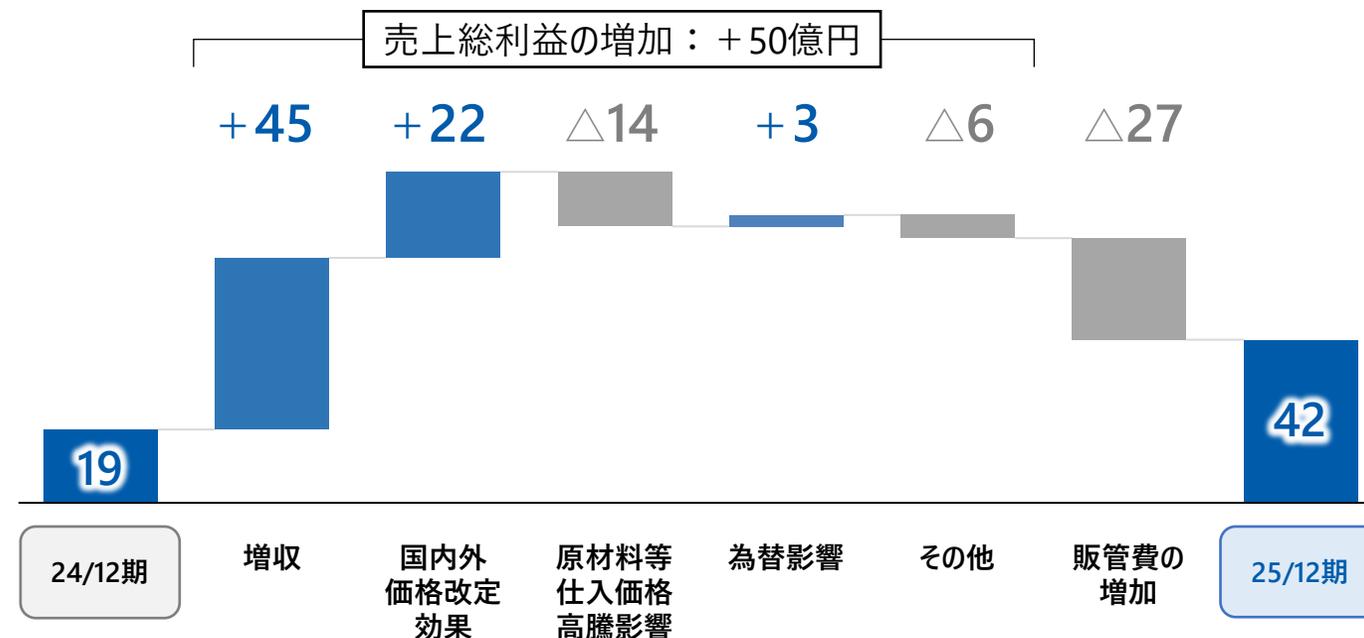
政府入札向け出荷増

# 営業利益

- 国内外の増収および価格改定効果で増益

【営業利益増減内訳(前期比：+23億円)】

(単位：億円、%)	2024/12期 実績	2025/12期 実績	前期比
売上高	1,684	<b>1,857</b>	+ 173
売上総利益	506	<b>556</b>	+ 50
売上総利益率	30.1%	<b>30.0%</b>	△ 0.1%
販管費	487	<b>514</b>	+ 27
人件費	276	<b>293</b>	+ 17
その他経費	210	<b>220</b>	+ 9
営業利益	19	<b>42</b>	+ 23
営業利益率	1.1%	<b>2.3%</b>	+ 1.2%



【為替影響(損益影響、億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+ 6	△ 3	△ 1	+ 1

(参考)

【プロジェクト Z (損益影響、億円)】

営業利益	計画	実績
効果	+ 15	+ 15
一時費用*	△ 8	△ 8

\* 生産移管費用、販社統合費用など

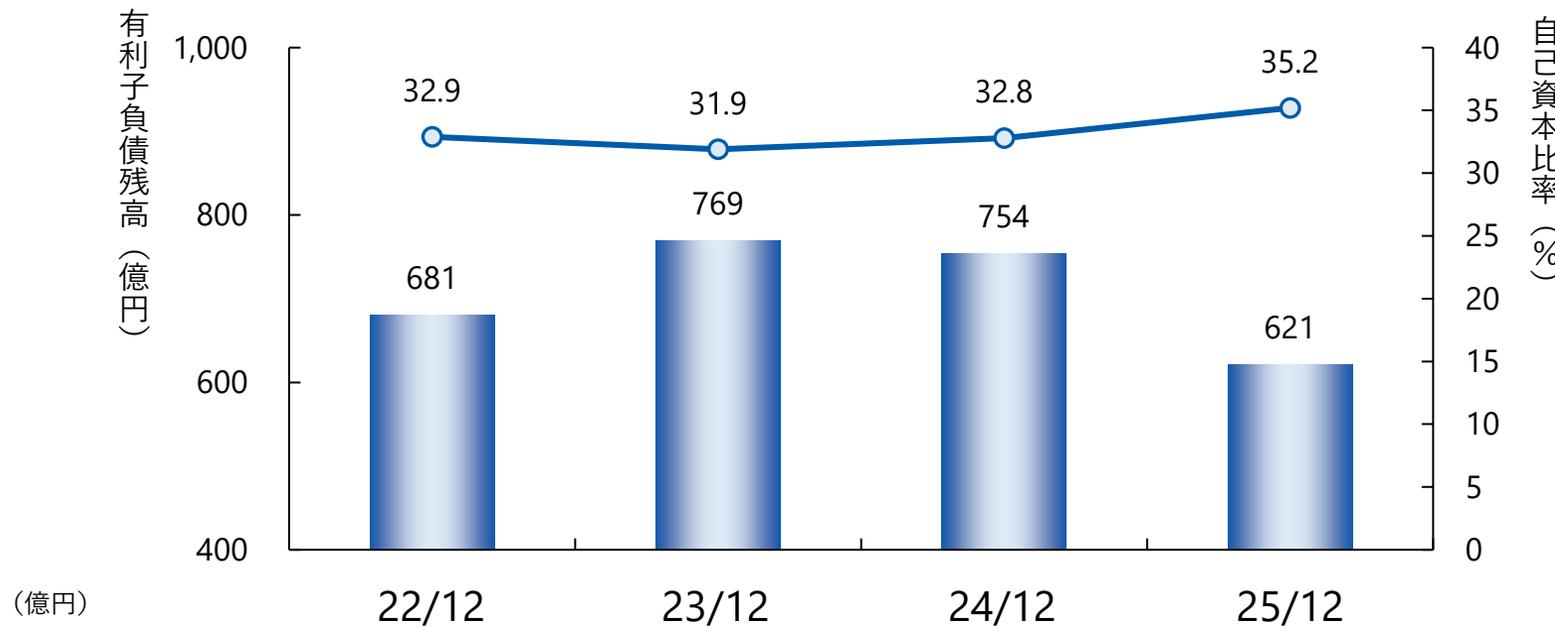
# バランスシート

- ・ 国内販売好調で棚卸資産は大幅圧縮
- ・ 有利子負債も大幅削減

(単位：億円)	2024/12月末	2025/12月末	前期末比		2024/12月末	2025/12月末	前期末比
現金	82	<b>128</b>	<b>+ 46</b>	仕入債務	252	<b>269</b>	<b>+ 16</b>
売上債権	254	<b>264</b>	<b>+ 10</b>	有利子負債	754	<b>621</b>	<b>△ 133</b>
棚卸資産	669	<b>577</b>	<b>△ 91</b>	(借入金)	(681)	<b>(549)</b>	<b>(△ 131)</b>
その他流動資産	50	<b>53</b>	<b>+ 2</b>	未払金	102	<b>139</b>	<b>+ 36</b>
				その他負債	232	<b>280</b>	<b>+ 47</b>
流動資産計	1,056	<b>1,024</b>	<b>△ 31</b>	負債計	1,342	<b>1,310</b>	<b>△ 32</b>
有形固定資産	813	<b>836</b>	<b>+ 22</b>	純資産	718	<b>784</b>	<b>+ 65</b>
無形固定資産	29	<b>39</b>	<b>+ 9</b>				
投資その他資産	161	<b>194</b>	<b>+ 32</b>	(利益剰余金)	(166)	<b>(191)</b>	<b>(+ 25)</b>
固定資産計	1,005	<b>1,070</b>	<b>+ 65</b>				
資産合計	2,061	<b>2,094</b>	<b>+ 33</b>	負債・純資産計	2,061	<b>2,094</b>	<b>+ 33</b>

# 有利子負債・自己資本比率・配当

## 【有利子負債・自己資本比率】



	22/12	23/12	24/12	25/12
借入金	611	698	681	549
リース債務	70	71	73	71
有利子負債計	681	769	754	621
純資産	723	742	718	784

D/Eレシオ	0.94倍	1.04倍	1.05倍	0.79倍
--------	-------	-------	-------	-------

## 【配当】

(単位：円)

	2024/12期 実績	2025/12期 予定
期末配当	30	40

有利子負債大幅削減によりD/Eレシオは0.79倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

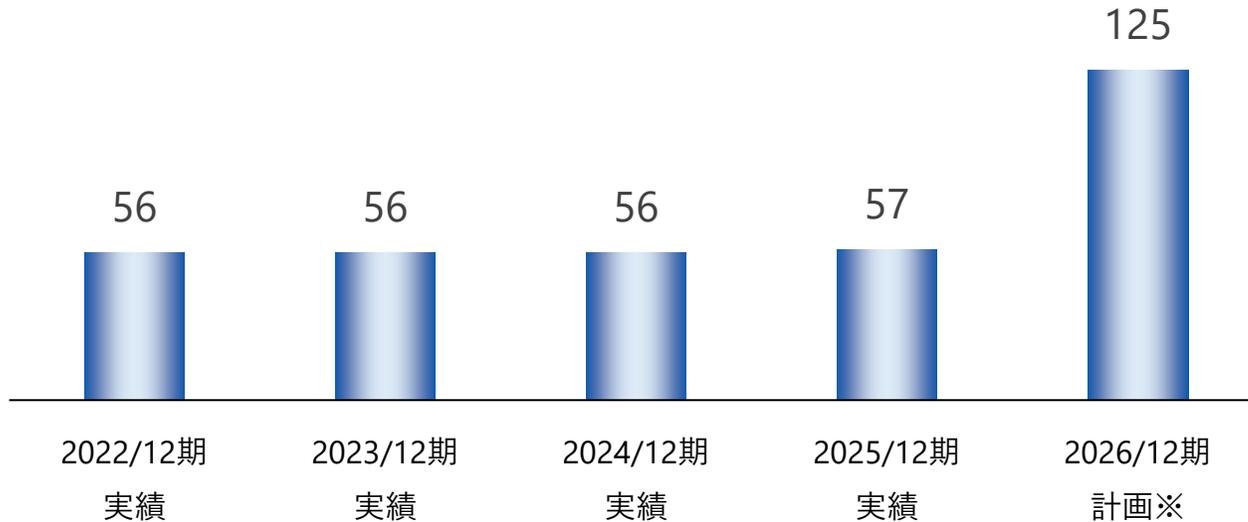
- 増益と棚卸資産圧縮で営業CFは大幅に改善。固定資産売却でフリーCFは更に改善

(単位：億円)	2022/12期 実績	2023/12期 実績	2024/12期 実績	2025/12期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 33	△ 24	88	234	+ 146
(税金等調整前当期純利益)	52	19	△ 15	44	+ 59
(減価償却費)	61	56	54	52	△ 2
(減損損失)	△ 15	0	23	2	△ 20
(売上債権の増減額 (△は増加))	△ 51	12	18	△ 16	△ 35
(棚卸資産の増減額 (△は増加))	△ 114	△ 63	74	119	+ 45
(仕入債務の増減額 (△は減少))	54	△ 45	△ 169	16	+186
(未払金の増減額 (△は減少))	△ 1	0	97	34	△ 63
(その他)	△ 18	△ 3	5	△ 18	△ 23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 29	△ 54	△ 58	△ 44	+ 14
(有形及び無形固定資産の取得による支出)	△ 48	△ 57	△ 57	△ 65	△ 8
(有形及び無形固定資産の売却による収入)	4	3	5	19	+ 13
フリーキャッシュ・フロー	△ 63	△ 78	29	190	+ 160
財務活動によるキャッシュ・フロー	20	67	△ 50	△ 151	△ 100

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

## 【設備投資（億円）】

※有形・無形固定資産受入れベース



## 【減価償却費・研究開発費（億円）】

	2024/12期 実績	2025/12期 実績
減価償却費	54.3	52.0
研究開発費	14.6	19.3

※2026年設備投資計画 125億円  
内、最適化投資 80億円

(内訳)

	2024/12期	2025/12期
販社拠点	16	14
生産性向上	12	26
情報化	3	3
その他	25	14
計	56	57

---

1. 2025年12月期 業績の概要

**2. 2026年12月期 業績予想**

3. 国内外市場動向

4. IR活動について

5. TOPIC

6. APPENDIX

# 2026年12月期 連結業績予想

- ・ 減収ながらプロジェクトZ効果で営業増益
- ・ 配当 1株あたり5円増配し、45円の予定 (2期連続増配予定)

(単位：億円、%)	2023/12期	2024/12期	2025/12期	2026/12期	前期比	
	実績	実績	実績	予想		
売上高	1,699	1,684	1,857	1,800	△ 57	
(国内)	1,130	1,130	1,294	1,200	△ 94	
(海外)	568	553	563	600	+ 36	
営業利益	22	19	42	60	+ 17	
営業利益率	1.3%	1.1%	2.3%	3.3%	+ 1.0%	
経常利益	20	15	41	49	+ 7	
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	△ 30	27	30	+ 2	
為替平均 レート(円)	ドル ユーロ	139.7 156.6	151.7 164.8	149.9 169.1	150 175	+ 0.1 + 5.9
期末配当 (円/1株)	30	30	40	45	+ 5	
ROE (%)	0.0%	△ 4.4%	3.9%(2.4%)* <sup>1</sup>	4.0%	+ 0.1%	

\*1 ( )内数値は、固定資産売却益10億円を除く

# 国内売上高予想

- 需要は底堅く推移するものの、一時的に生産能力が追い付かず、減収

(単位：億円)		2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	2026/12期	前期比	
		実績	実績	実績	実績	予想		
農機関連	農機製品	469	450	441	511	460	△ 51	
	メンテナンス	部品	156	160	169	184	185	+ 0
		修理収入	58	60	62	67	68	+ 0
		小計	215	220	231	252	253	+ 0
	作業機	205	204	210	282	250	△ 32	
	計	889	875	884	1,046	963	△ 83	
施設工事		43	55	41	59	48	△ 11	
その他農業関連		193	199	204	188	189	+ 0	
合計		1,126	1,130	1,130	1,294	1,200	△ 94	
メンテナンス収入比率		19.1%	19.5%	20.5%	19.5%	21.1%	+ 1.6%	

# 海外売上高予想

- ・ 欧州の堅調な需要に加え、北米のコンパクトトラクタ市場の底打ちもあり増収

(単位：億円、%)	2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	2026/12期	前期比
	実績	実績	実績	実績	予想	
欧州	251	332	385	<b>385</b>	<b>418</b>	+ 32
北米	195	142	112	<b>104</b>	<b>113</b>	+ 8
アジア	86	81	49	<b>69</b>	<b>65</b>	△ 4
その他	6	11	5	<b>3</b>	<b>4</b>	+ 0
合計	539	568	553	<b>563</b>	<b>600</b>	+ 36

海外売上高比率	32.4%	33.5%	32.9%	<b>30.3%</b>	<b>33.3%</b>	+ 3.0%
---------	-------	-------	-------	--------------	--------------	--------

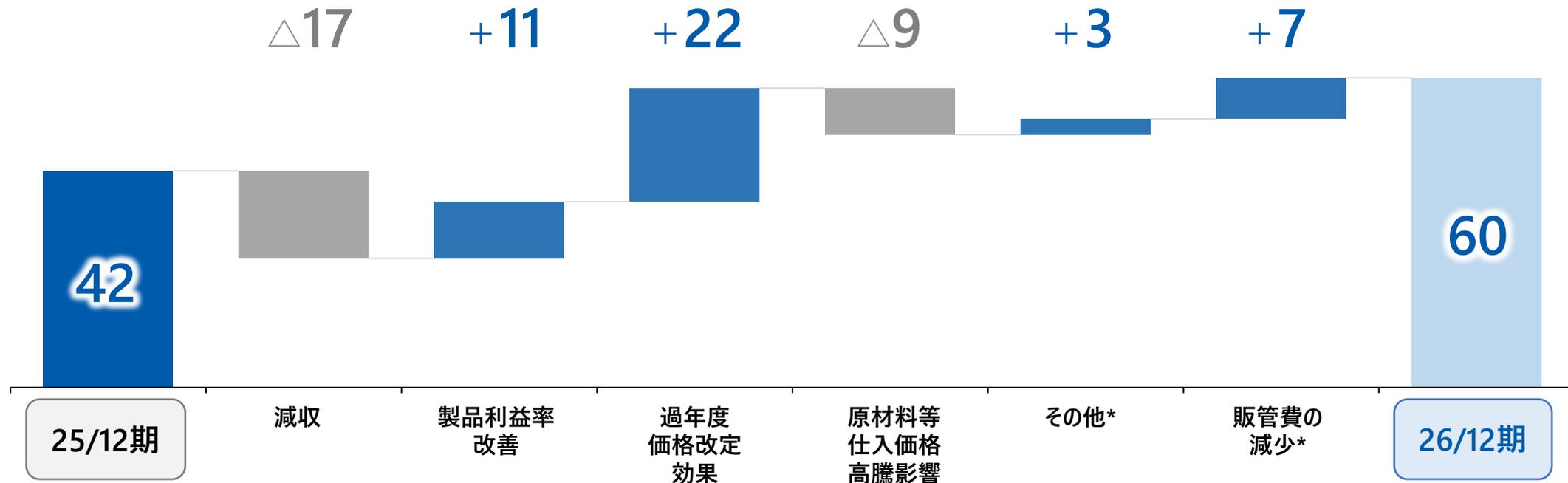
# 連結営業利益増減要因

- 2026年度は一時的に生産能力が追い付かないため、減収影響が生じるものの、プロジェクトZ効果発現と価格改定効果により、増益。

【プロジェクトZ (2024年対比損益影響、億円)】

営業利益	2025年 累計	2026年 累計	前年増減
効果	15	38	+23
一時費用	8	3	△5
ネット	7	35	+28

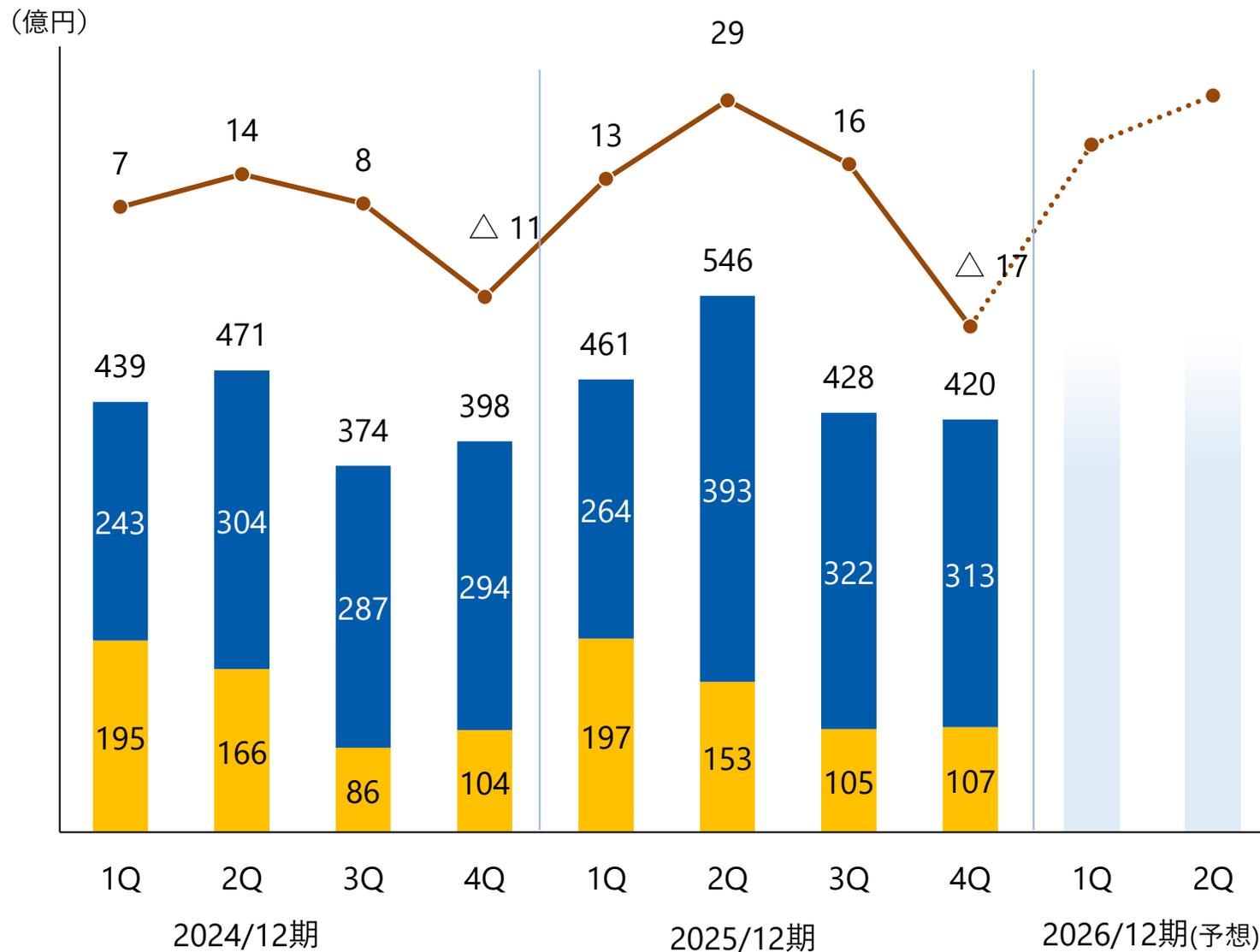
【営業利益増減内訳 (前期比：+17億円)】



\* 2025年に発生したプロジェクトZに係る一時費用の減少含む

# 連結業績の推移 (四半期別)

■ 海外売上高 ■ 国内売上高 ● 営業利益



- 2026年は上期好調な滑り出し  
下期も新商品効果で増益を見込む

1. 2025年12月期 業績の概要

2. 2026年12月期 業績予想

**3. 国内外市場動向**

4. IR活動について

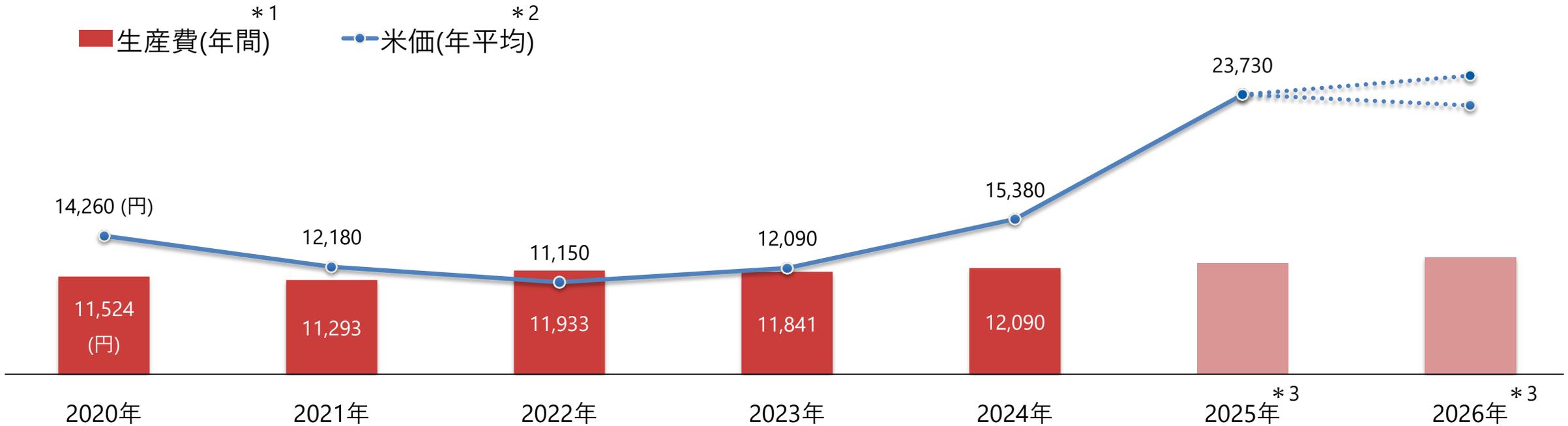
5. TOPIC

6. APPENDIX

# 国内市場の動向

- 2021年以降の米価下落、生産資材費高騰もあり購買意欲減退。2024年6月以降、米価回復を背景に農家の購買意欲が高まる

## ■米価・生産費の推移



\*1：農業経営統計調査（農林水産省）、米生産費（組織法人経営体・全国、60kgあたり）

\*2：農業物価統計調査（農林水産省）、全国平均販売価格（農産物の生産者による販売価格（消費税含、うるち玄米1等60kg、2025年は概数値））

\*3：2025年～2026年の生産費：当社想定

## 日本

### 1. 当社の状況（1-12月）

- ・購買意欲の高まりを捉え大幅増収
  - 農機製品売上は前年比 + 16%
  - 4Qも契約は売上以上に伸長し、受注残拡大
- ・メンテナンス収入は堅調に増加
- ・施設工事は政府による共同利用施設の再編集約・合理化支援もあり堅調

### 2. 今後の展開等

- ・2026年の滑り出しは好調
- ・好調な需要に合わせた商品提供の推進を図る
- ・成長戦略として「大型・先端・畑作・環境」をターゲットとした新商品を投入していく⇒ 26ページにて一部ご紹介
- ・加えて、国内草刈市場への事業展開を進める

## 欧州

### 1. 市場の動向

- ・プライベートユーザー向け需要は安定して推移
- ・一部の地域で、プロ向け市場は軟調
  - 財政悪化等により自治体予算が減少(公園等の維持管理)
- ・2026年は緩やかな回復予想
  - 財政再建は継続も、公共投資は底堅い（インフラや緑地整備）
  - 環境対応製品の普及で景観関連需要の回復期待

### 2. 当社の状況（1-12月）、今後の展開等

- ・前年同等の売上高を維持
  - ドイツの仕入商品特需剥落も、ISEKI UK社の新規連結化、フランスでのコンシューマー向け販売堅調（低価格トラクタ、電動仕入商材等）
- ・今後、成長戦略として欧州3子会社シナジーの最大限発揮
  - 既存市場：販売強化、品揃え拡充、周辺地域：販売拡大

## 北米

### 1. コンパクトトラクタ市場の動向

- ・2021年頃をピークに調整局面が続き、市場は縮小継続
- ・関税影響は不透明も、2025年後半は改善への兆しが見られた
- ・中長期的には横ばいを基調と見つつ、2026年は下げ止まり、回復方向への動きを想定

<市場推移> ・2025年1-12月：前年比  $\Delta$ 8% (単位：千台、%) (出所：AEM統計)



### 2. 当社の状況（1-12月）、今後の展開等

- 販売台数(2025年/1-12月) 前年比  $\Delta$ 12% ※現地小売台数
- ・2025年投入の新商品が堅調に推移
- ・2026年は収益性の高い製品を軸に効率的な販促策を展開
- ・2025年末の在庫調整完了により、シェア拡大策と併せ、需要回復に応じた売上挽回を図る

## アジア

### 1. 市場の動向

- <韓国> ・農業人口減少や高齢化、転作奨励による稲作機械需要縮小継続。大型・スマート農機へのニーズ継続
- <タイ> ・稲作、サトウキビ市場ともに価格低下で厳しい状況続く  
・家計債務問題もあり、農家の購買余力の減退が継続
- <インドネシア>  
・農業機械化政策により政府入札が増加

### 2. 当社の状況（1-12月）、今後の展開等

- <韓国> ・現地在庫調整完了により出荷回復  
・2026年は現地代理店との販促策実施による拡販  
- 大規模展示会など
- <タイ> ・タイIST社からフィリピン向け出荷開始も全体の販売減少  
・重点エリアを定め販促策強化、販売拡大目指す  
- 畑作向け高馬力帯商品ラインナップ充実 等
- <インドネシア>  
・現地調達率の高さを活かし、政府入札向け出荷増  
・2026年以降も入札推進強化を図る

1. 2025年12月期 業績の概要
2. 2026年12月期 業績予想
3. 国内外市場動向
- 4. IR活動について**
5. TOPIC
6. APPENDIX

## ■2025年度 IR活動の実績

- ・個人投資家向けを中心に接点を拡大
- ・米価回復による業績期待等もあり、国内外機関投資家との個別面談件数は増加
- ・公平な情報開示、アナリストの利便性向上等を目的に決算説明会書き起こし（和英）配信の実施

## ■個人投資家向けイベント

イベント
①個人投資家向けIRセミナー
②日経・東証IRフェア2025
③個人株主向け施設見学会



## ■個別面談件数推移

2023年	2024年	2025年
40	39	86

## ■2026年度 IR活動予定

- ・対話機会の拡大、公平かつ積極的な情報開示により、認知度向上、成長戦略の理解促進を図り、PER向上を目指す
- ・個人投資家との接点は引き続き施策を維持
- ・機関投資家向けの成長戦略を中心とした事業説明会開催予定
  - ・4月20日（月）15時～
  - ・オンライン

## ■四半期別の主要スケジュール（予定）

主要スケジュール（予定）	
1-3月：	通期決算説明会、スポンサードレポート
4-6月：	1Q決算説明会、事業説明会、個人投資家向け説明会
7-9月：	中間決算説明会、工場見学会、IRフェア
10-12月：	3Q決算説明会、個人株主向け施設見学会

---

1. 2025年12月期 業績の概要

2. 2026年12月期 業績予想

3. 国内外市場動向

4. IR活動について

**5. TOPIC**

6. APPENDIX

## ■大型・先端商品ラインナップの拡充

### ・大型JAPANシリーズ 新商品発表

トラクタ BJシリーズ 2026年6月 発売

コンバイン HJシリーズ 2026年末 発売

### ・先端「スマート農機」のラインナップ充実

直進アシスト機能をコンバインFMシリーズに搭載



トラクタBJシリーズ



コンバインHJシリーズ



コンバインFMシリーズ

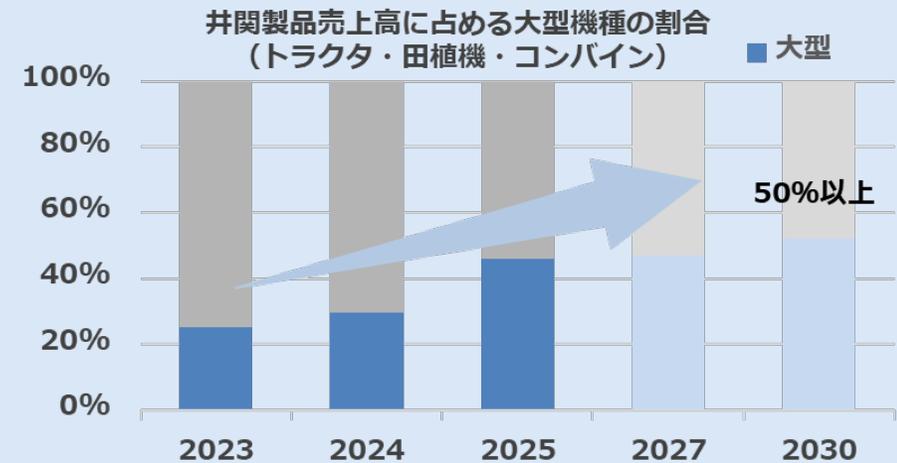
2025年 井関製品の売上に占める  
大型機械の比率は40%超



大型・先端商品ラインナップ拡充により

2030年目標「50%以上」達成へ

前倒しで達成見込み



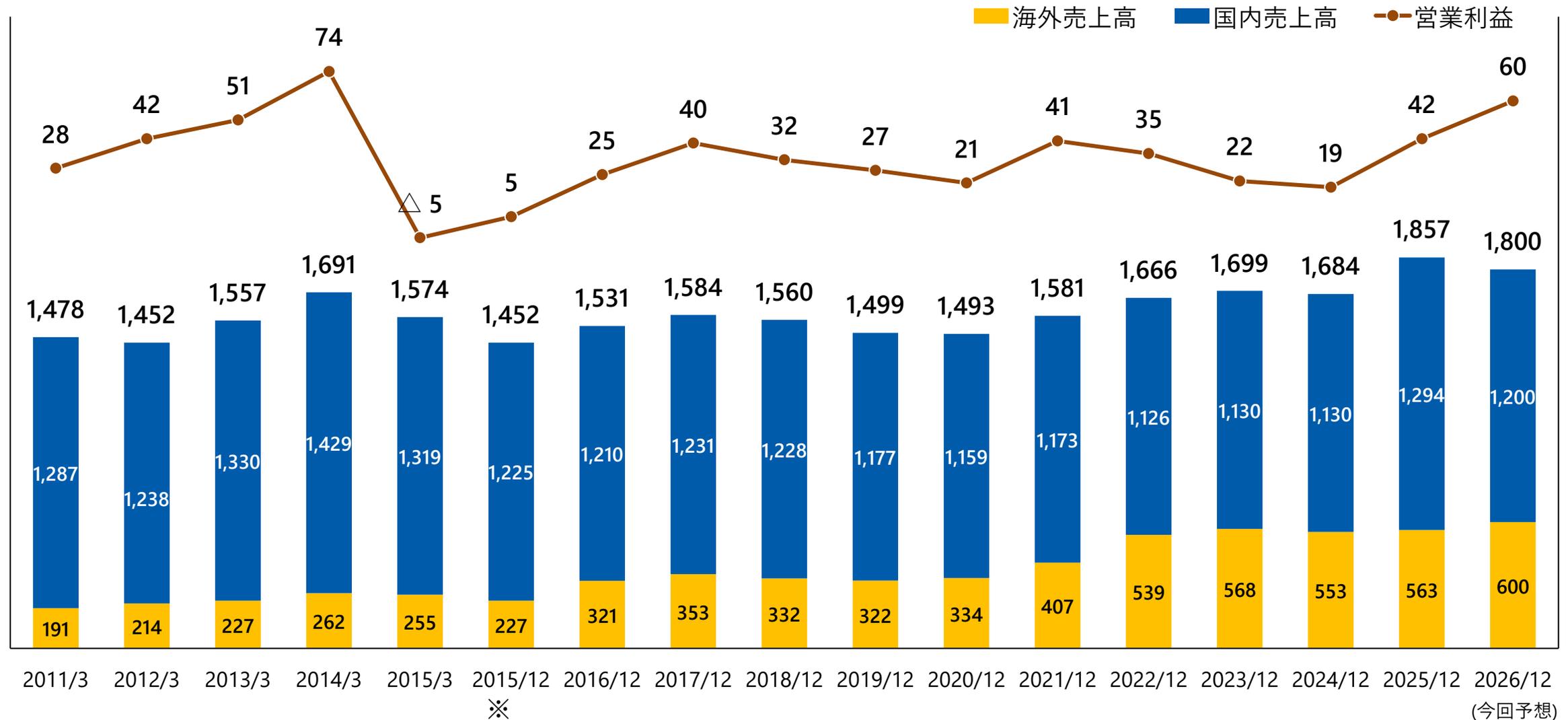
- 
1. 2025年12月期 業績の概要
  2. 2026年12月期 業績予想
  3. 国内外市場動向
  4. IR活動について
  5. TOPIC
  - 6. APPENDIX**

・社名	井関農機株式会社 (ISEKI & CO.,LTD.)
・創立	1926年8月
・本店の所在地	愛媛県松山市馬木町700番地
・資本金	23,344百万円 (2025年12月末)
・売上高	185,770百万円 (2025年12月期)
・従業員数 (連結)	5,199名 (2025年12月末)
・事業内容	農業機械・ガーデントラクタの製造・販売,農業用施設,農業関連商品の販売
・グループ	連結子会社14社 (2025年12月末)
・工場	国内5拠点,海外1拠点(インドネシア)
・販売網	国内：ISEKI Japan他系列販売会社、JAグループ、販売代理店等を通じた販売 海外：【欧州】ISEKIフランス社,ISEKIドイツ社,ISEKI UK社,その他現地販売代理店等を通じた販売 【北米】AGCO社へのOEM供給,【中国】東風井関農業機械有限公司による販売, 【タイ】IST社を通じた販売,【その他地域】現地販売代理店等を通じた販売
・上場市場	東京証券取引所プライム市場
・証券コード	6310
・発行済株式の総数	22,984,993株 (2025年12月末、自己株式111,478株を含む)
・単元株式数	100株

# 連結業績の推移（通期）

※2015/12期は決算期変更のため9ヶ月決算

(単位：億円)

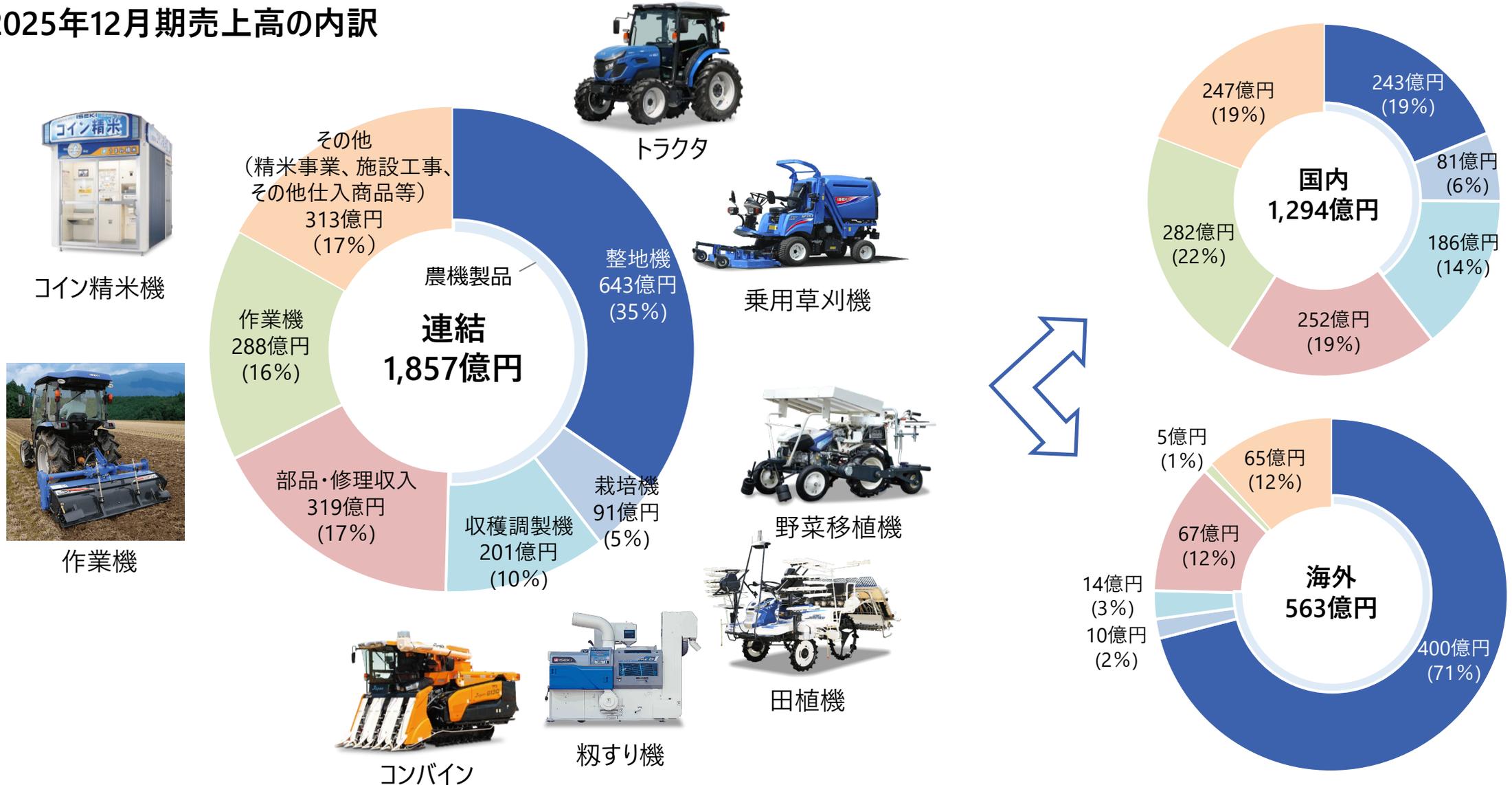


# 商品・サービス概要

区分	主な商品・サービス	主な販売地域			
		日本	アジア	欧州	北米
製品	主に当社グループにて開発・生産する製品				
整地用	トラクタ、乗用草刈機、 耕うん機・管理機、乗用管理機など    	○	○	○	○
栽培用	田植機、野菜移植機など  	○	○	-	-
収穫調製用	コンバイン、バインダ、野菜収穫機、 粃すり機、計量選別機など   	○	○	-	-
作業機	国内・海外作業機メーカー等の商品 (一部井関グループにて開発・生産)   	○	一部	一部	-
補修用部品・ 修理収入	補修用部品、修理・メンテナンスなど 	○	一部	一部	主に 部品
その他	施設工事（農業用施設等） 農業用資材（肥料等）、コイン精米事業、炊飯事業、 その他仕入商品（小型草刈機等）など  	○	一部	○	-

# 商品別売上高の内訳

## 2025年12月期売上高の内訳



# 海外地域別売上高の内訳

## 2025年12月期売上高の内訳



韓国 コンバイン

その他  
3億円  
(1%)



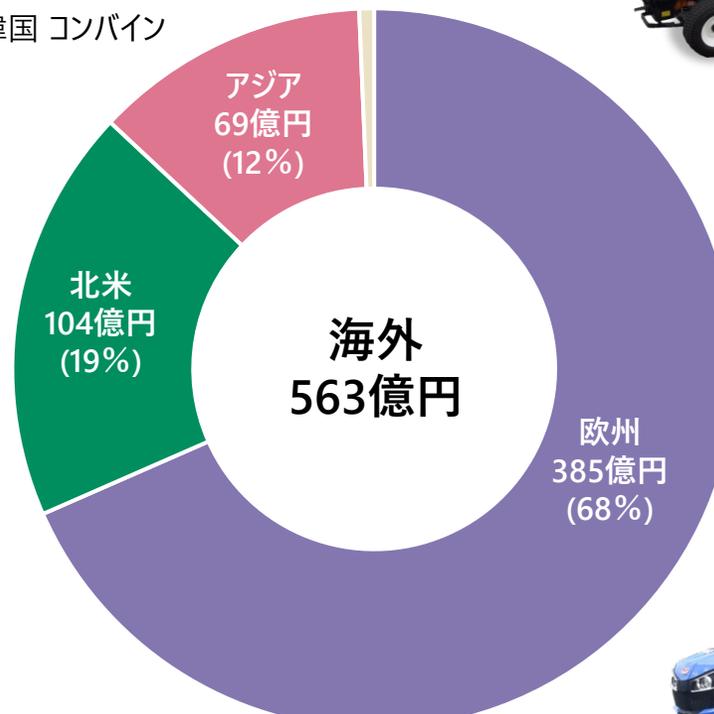
欧州 乗用草刈機



アセアントラクタ



北米 トラクタ  
(AGCO社向けOEM供給)



欧州 乗用草刈機



欧州 トラクタ



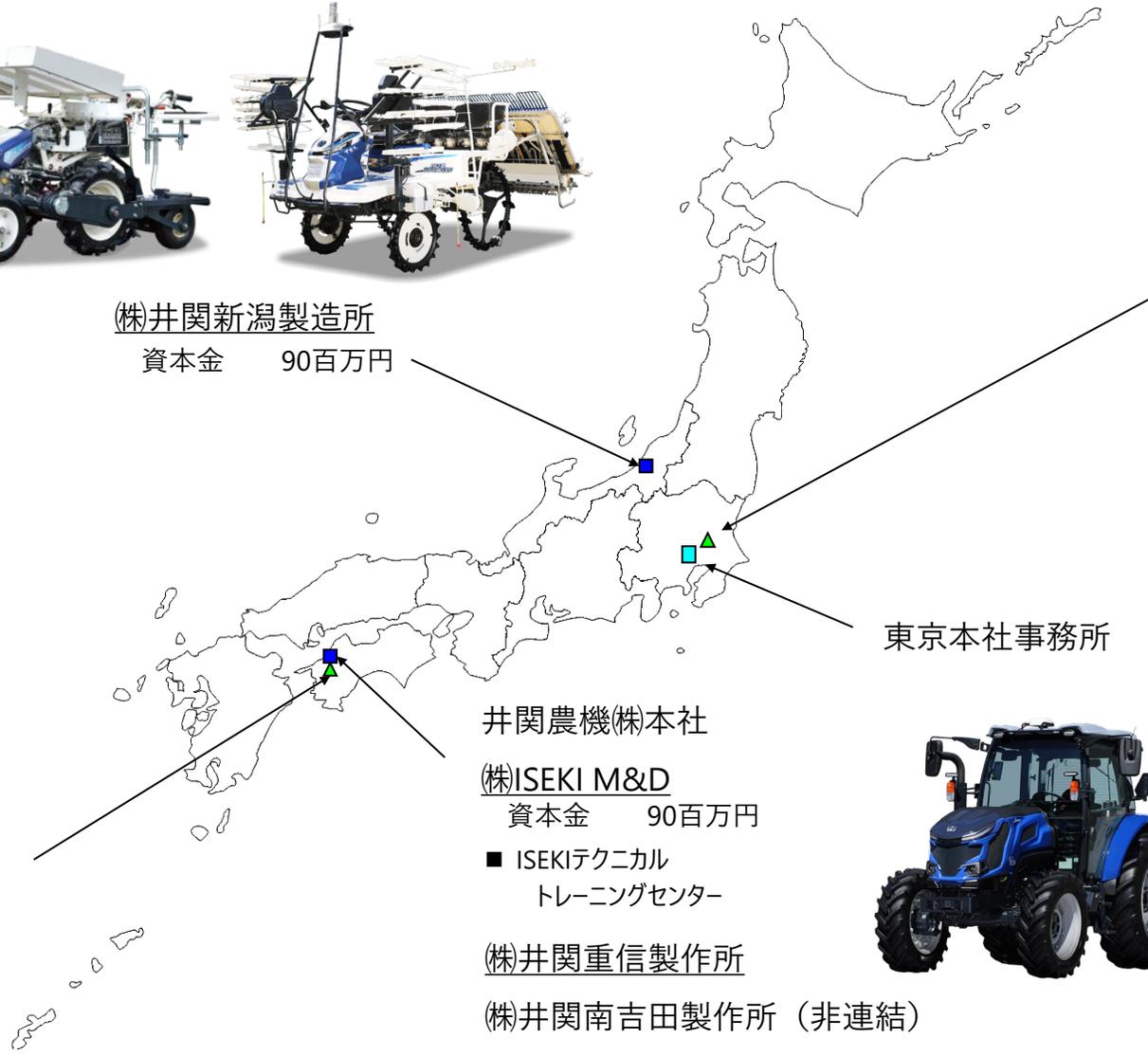
# 国内の主な事業所・製造所

※2026年2月現在



(株)井関新潟製造所  
資本金 90百万円

開発製造本部 (技術部)



つくばみらい事業所

- 夢ある農業総合研究所
- ISEKIグローバル  
トレーニングセンター



東京本社事務所

井関農機(株)本社

(株)ISEKI M&D  
資本金 90百万円

- ISEKIテクニカル  
トレーニングセンター

(株)井関重信製作所

(株)井関南吉田製作所 (非連結)



(2026年2月現在)



## 海外：主な関係会社・戦略パートナー

### [関係会社]

- |        |  |
|--------|--|
| フランス   | ISEKI France S.A.S (ISEKIフランス社)  |
| ドイツ    | ISEKI Europe GmbH (ISEKIヨーロッパ社) ※1<br>ISEKI-Maschinen GmbH (ISEKIドイツ社) |
| イギリス   | ISEKI UK & Ireland Limited (ISEKI UK社)                                 |
| タイ     | IST Farm Machinery Co.,Ltd. (ISTファームマシナリー社)                            |
| インドネシア | PT.ISEKI INDONESIA (PT井関インドネシア) ◆                                      |
| 中国     | 東風井関農業機械有限公司 (東風井関) ◆ ※1   |

### [戦略パートナー]

- |      |   |
|------|---|
| アメリカ | AGCOグループ ※2 AGCO Corporation (AGCO社)          |
| インド  | Tractors and Farm Equipment Ltd. (TAFE社：業務提携) |

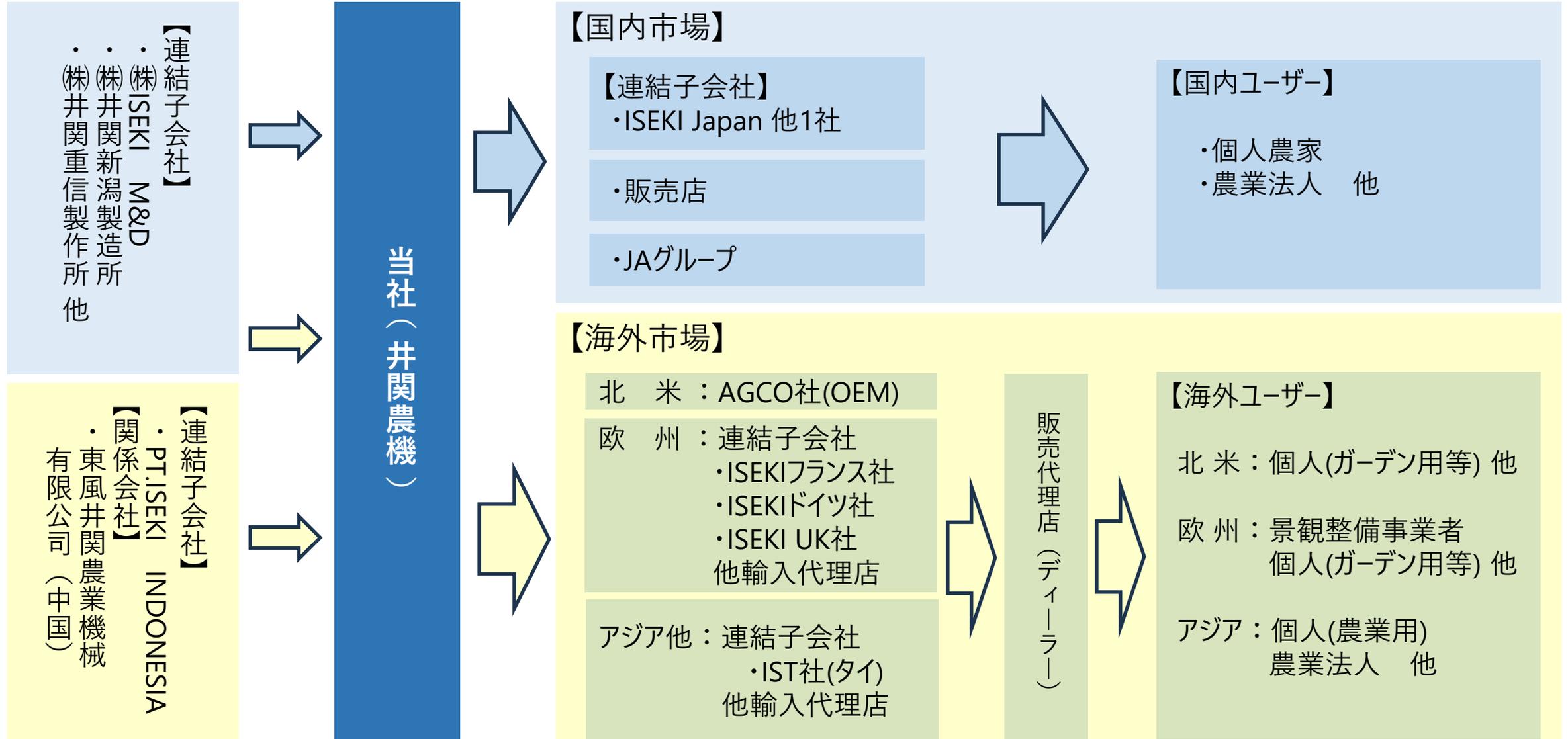
◆生産拠点

※1：非連結 ※2：OEM供給先

# 当社製品の主な販売経路

国内向け製品 → 海外向け製品 →

(2026年2月現在)



(2026年2月現在)

## 「住みよい清潔な街づくり」に貢献

- ✓ 1960年代にビジネスをスタート。以降、欧州全域に販売エリアを拡大し、ISEKIブランドを確立、欧州の街づくりに貢献しています
- ✓ 主に自治体から請け負う景観整備業者を中心に、エッセンシャルビジネスである公園の草刈りや道路清掃、除雪作業に使われる小型で高性能なトラクタ、乗用草刈機を提供しています
- ✓ 2025年からはイギリスのISEKI UK社(IUK社)を連結子会社化。欧州子会社内での連携を強化し、購買・調達などの一元化やコンポーネントの共通化でシナジーを発揮し、欧州事業の更なる拡大を目指します

### ■取り扱い商品

区分	主な内容	主なユーザー
製品(Non-Agri) (主に整地用)	(主に景観整備用) コンパクトトラクタ、 乗用草刈機、耕うん機など	景観整備業者、 小規模農家、 ホビーファーマー
その他商品	作業機*・部品など	

\*当社製品とシナジー効果の高い、電動・ガソリンタイプの草刈商品等を仕入・販売

### ■主な販売ルート

フランス：ISEKIフランス社（連結子会社）  
 ドイツ：ISEKIドイツ社（連結子会社）  
 イギリス：ISEKI UK社（連結子会社）  
 ベルギー・オランダ：バンデハーゲ社  
 その他各国代理店を通じての販売等



(2026年2月現在)

## 「プライベートな生活充実」へ貢献

- ✓ 農業機械のグローバルメジャーメーカーであるAGCO社をビジネスパートナーに、同社のMassey Fergusonブランドの製品をOEM供給しています
- ✓ プライベートユーザーを中心に軽土木作業や庭の整備、寒冷地での除雪作業等のさまざまな用途で使用されており、現地ユーザーからも高く評価されています
- ✓ コンパクトトラクタの需要はここ10年で急速に拡大しており、特にコロナ禍においては郊外移住等のライフスタイルの変化に伴う需要が旺盛となりました。2022年以降は調整局面に入るも、依然として大きな市場規模となっています



### ～商品供給の歴史～

- ・1977年～ トラクタ輸出開始 (FMC社：OEM)
- ・1991年～ MF(Massey Ferguson)社へOEM供給
- ・1994年～ AGCO社へOEM供給開始

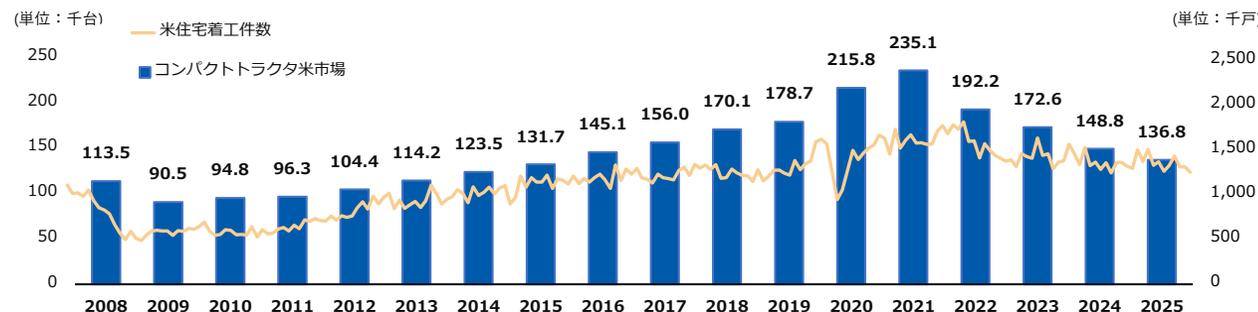
### ■取り扱い商品

区分	主な内容	主なユーザー
製品 (Non-Agri) (主に整地用)	コンパクト・サブコンパクトトラクタなど	農家 ホビーファーマー 景観整備、軽土木業者
その他商品	作業機・部品など	

### ■主な販売ルート

アメリカ・カナダ：AGCO Corporation (AGCO社：OEM供給)

### ■北米コンパクトトラクタ市場と住宅着工件数の推移



出典： Association of Equipment Manufacturers (AEM), United States Census Bureau(USCB)

## 「農業生産者の負担軽減、食料生産」に貢献

アセアン、東アジア（韓国・台湾）、中国の各市場において、日本で培った稲作関連機械を中心に展開しています

- ✓ アセアンでは、連結子会社であるIST社を核として、周辺国への販売・サービス展開をしています。主に農業用に利用され、トラクタに加え、稲作関連の田植機、コンバイン等も提供しています
- ✓ 東アジアでは、先端技術や大型農機のニーズが高まっており、日本で活躍する大型で高性能な稲作農機（トラクタ、田植機、コンバイン等）を現地販売代理店を通じて、ISEKIブランドで提供しています
- ✓ 中国では、稲作関連機械をISEKIブランドに加え、現地ブランドでも展開し、よりニーズに合わせた商品構成としています



### ■ 取り扱い商品・主な販売ルート

国・地域	区分		主な内容	主なユーザー	販売ルート
アセアン	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ 田植機（歩行・乗用） 汎用コンバイン 等	農家 コントラクター	タイ：IST社(連結子会社) * IST Farm Machinery Co.,Ltd.
	その他商品		作業機・部品など		
東アジア (韓国・台湾)	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ、乗用管理機 田植機、野菜移植機 自脱型コンバイン 等	農家 コントラクター	現地販売代理店
中国	製品(Agri) (主に農業用)	整地用 栽培用 収穫調製用	トラクタ 田植機(歩行・乗用) コンバイン(自脱型・汎用型) 等	農家 コントラクター	東風井関(非連結) * 東風井関農業機械有限公司

当社の特許の分野別登録数や高い特許査定率は、新技術の開発・投入・実用化に積極的に取り組んできた証です

## 1. 特許の日本における分野別登録数

### 「その他特殊機械分野」 第2位

年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
分野	その他の特殊機械							
順位	1位	2位	1位	2位				

## 2. 特許査定率

### 「全産業中」 第3位

年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
特許査定率	98.1%	96.4%	97.7%	98.7%	97.2%	94.6%	92.2%	96.7%
順位	1位	2位	1位			3位	-	3位

※特許査定率 = 特許査定件数 / (特許査定件数 + 拒絶査定件数 + 取下・放棄件数)、取下・放棄件数 = 拒絶理由通知後に取下げまたは放棄した件数

# 将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません
  - ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません
  - ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します
- 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません

